～かていしゅうですること【1】～

（おうちのといっしょによみましょう。）

**１　どく（こえをしてよみましょう）**

 　　　　○　いま，べんきょうしているところをすらすらよめるようにどくします。

 　　　　○　れんしゅうを，いえのにきいてもらいます。

 　　　　○　きいてもらったら，どくによんだしるしをつけてもらいます。

**２　のれんしゅう**

 　　　　○　えんぴつのもちかたにをつけて，ゆっくりていねいにかきます。

 　　　 ○　ならったひらがな・・かんをひつじゅんにをつけてれんしゅうします。

**３　き・さく**

　○　くっつきの「は」「へ」「を」をつかってをつくります。

 　　　　　　れい：「わたしは，うたをうたいました。」

 　　　○　のことばやかんをつかってをつくります。

 　　　 　　　れい：「ぼくは，をほってのきゅうこんをうえました。」

 　 　　○　いえの人やにおしえたいことをきにかきます。

れい：たのしかったこと，うれしかったこと，よんだのことなど

 　　　○　からはじめて，，とふやしていきます。

　 　　 ○　したことやおもったことをじゅんじょよくかけるようにします。

**４　さんすう**

 　　　　○　１では，０から１２０までのかず，きさくらべ，かたちをしゅうします。

○　たしざんやひきざんのれんしゅうをします。

○　とけいのよみかたをれんしゅうします。

**５　どくしょ**

 ○　１１０ぷんをひょうに，えやいろいろなしゅるいのをよみます。

**６　そのほか**

 　　○　いえにあるもんだいしゅうをするのもよいことです。

 　　　　　（こたえあわせをして，まちがったところはきちんとなおします。）

○ にかかれていないしゅうをじぶんでかんがえてするのもよいことです。